

心身ほっと 銭湯準備完了

1729.10.27
熊日

創業87年被災の熊本市「世安湯」 来月1日再開

「地域の人集う場に」



11月から営業を再開する世安湯で、ほぼ無傷で残った浴場壁画を見上げる3代目の坂崎友治さん＝熊本市中央区

熊本地震で被災し、休業していた創業87年の銭湯「世安湯」（熊本市中央区世安町）が、11月1日から営業を再開する。再建へ奔走してきた3代目の坂崎友治さん（54）は「地域の人が集う場になりたい」。ほぼ無傷で残った、富士山の浴場壁画に誓う。

東京でシステムエンジニアをしていた坂崎さんは、2014年に父から

のれんを継いだ。当時の客は、多い日で1日20人程度。浴場で落語を楽しむイベントなどを企画し、新たな客がつき始めていた時に地震が襲った。

創業時から残るれんが積み煙突（高さ12メートル）が折れ、ボイラーや浴槽なども破損。地震後、同業者組合が被災者に無料開放した際も湯を沸かすことができず、裏方に徹した。

地震後に廃業した銭湯もある。しかし「銭湯は日本の文化。祖父の代から続いてきたのに、自分はどこでも成していない」。再建を決断し、同業者5軒で被災企業を支援するグループ補助金を申請した。多額の借金に反対していた家族も最後は理解してくれた。

3月から再建工事に着手。煙突は根元部分を残して撤去し、浴槽や内装も一新。白いタイルがまぶしい。イベント開催を想定して、更衣室の間仕切りは可動式にした。がれき撤去を手伝ってくれたり、靴箱や風呂おけを譲ってくれたり、県外の同業者も支援してくれた。

18日には新しいボイラーに、初めて火が入った。29日には、再オープンを盛り上げようと、大阪の同業者の協力で、風呂おけを使ったカーリングや積み上げ競争などを楽しむ「オフロンピック」を開く。「大きな浴槽で心も体も芯から温まるのが銭湯の魅力」と坂崎さん。多くの人が交流する場所をつくらうと、新たなスタートを切る。

（西國祥太）
※世安湯 ☎096（3）25（8）3348。